

試験日	令和2年7月20日
-----	-----------

受験番号	
------	--

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

申請者(法人)名 \_\_\_\_\_

受験者の氏名 \_\_\_\_\_

(注意事項)

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者（特別積合せ貨物運送に係るものを除く）を指します。
2. 設問の文中には、一部省略しているものもあります。

I. 次の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

問1【貨物自動車運送事業法】（定義）

この法律において「一般貨物自動車運送事業」とは、特定の者の需要に応じ、有償で、自動車（三輪以上の軽自動車及び二輪の自動車を除く。）を使用して貨物を運送する事業であって、特定貨物自動車運送事業以外のものをいう。

( )

問2【貨物自動車運送事業法】（許可の基準）

その事業を自ら適確に、かつ、継続して遂行するに足る経済的基礎及びその他の能力を有するものであること。

( )

問3【貨物自動車運送事業法】（運賃及び料金等の掲示）

事業者は、運賃及び料金、定款その他国土交通省令で定める事項を主たる事務所その他の営業所において公衆に見やすいように掲示しなければならない。

( )

問4【貨物自動車運送事業法】（公衆の利便を阻害する行為の禁止等）

事業者は、適正かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときを除き、特定の荷主に対し、不当な差別的取扱いをすることができない。国土交通大臣は、この規定する行為があるときは、事業者に対し、当該行為の停止又は変更を命ずることができる。

( )

問5【貨物自動車運送事業法施行規則】（届出）

事業者たる法人であって、常勤役員又は社員に変更があった場合、当該事業の許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長へ届け出なければならない。

( )

問6【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（過労運転の防止）

事業者は、酒気を帯びた状態にある乗務員を事業用自動車に乗務させてはならない。

また、乗務員の健康状態の把握に努め、疾病、疲労その他の理由により安全な運転をし、又はその補助をすることができないおそれがある乗務員を事業用自動車に乗務をさせてはならないが、運行管理者がやむを得ないと判断したときはこの限りではない。

( )

問7【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（事故の記録）

事業用自動車に係る事故が発生した場合に作成する事故の記録については、その記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において三年間保存しなければならないが、再発防止対策の記録は三年間の保存を要しない。

( )

問8【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者等の選任）

事業者は、国土交通大臣が認定する講習を修了した者のうちから、運行管理者の業務を補助させるための者（補助者）を選任することができる。

( )

問9【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者の業務）

運行管理者は、従業員に対して、点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持すること。

( )

問10【自動車事故報告規則】（速報）

事業者は、その使用する自動車について、2人以上の死者を生じた事故があったときは、電話、ファクシミリ装置その他適当な方法により、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

( )

問11【道路運送法】（自動車に関する表示）

自動車（軽自動車たる自家用自動車、乗車定員十人以下の乗用の自家用自動車、特殊自動車たる自家用自動車その他国土交通省令で定めるものを除く。）を使用する者は、その自動車の前後に、使用者の氏名、名称又は記号その他の国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。

( )

問12【道路運送車両法】（日常点検整備）

自動車の使用者は、自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。

( )

問13【道路運送車両法】（整備管理者）

自動車の使用者は、国土交通省令で定める自動車であって国土交通省令で定める台数以上のものの使用の本拠ごとに、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。

( )

問14【道路運送車両法】（自動車検査証の備付け等）

自動車は、自動車検査証を備え付け、かつ、国土交通省令で定めるところにより検査標章を表示しなければ、運行の用に供してはならない。

( )

問 1 5 【労働安全衛生法】（健康教育等）

事業者は、労働者に対する健康教育及び健康相談その他労働者の健康の保持増進を図るため必要な措置を継続的かつ計画的に講ずるよう努めなければならない。

( )

問 1 6 【私的独占の禁止及び不正取引の確保に関する法律】（不公正な取引方法）

事業者は、やむを得ない場合を除き私的独占又は不当な取引制限をしてはならない。

( )

問 1 7 【下請代金支払遅延等防止法】（目的）

この法律は、下請代金の支払遅延等を防止することによって、親事業者の下請事業者に対する取引を公正ならしめるとともに、下請事業者の利益を保護し、もって取引の安全に寄与することを目的とする。

( )

Ⅱ. 次の問題について、該当するものを選び（ ）内に記入しなさい。

問1 【貨物自動車運送事業法】（事業計画）

【貨物自動車運送事業法施行規則】（事業計画の変更の届出）

事業者は、事業計画の変更をしようとするときは、貨物自動車運送事業法施行規則で定める届出事項を除き認可が必要となります。次の中で認可事項に該当するものはどれか。次のア～オの中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 主たる事務所の位置の変更
  - イ. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名の変更
  - ウ. 営業所の名称の変更
  - エ. 休憩睡眠施設の位置の変更
  - オ. 主たる事務所の名称の変更
- （ ）

問2 【貨物自動車運送事業法】（運行管理者資格者証）

国土交通大臣が運行管理者資格者証を交付することができる者はどれか。次の中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業者等の営業所の管理に関し5年以上の実務の経験を有する者
  - イ. 事業者等の自動車運転者の運転の業務に関し5年以上の実務の経験を有し、国土交通大臣が定める講習を5回以上受講した者
  - ウ. 運行管理者試験に合格した者
- （ ）

問3【貨物自動車運送事業法施行規則】（事業計画）

次のうち、事業計画として記載しなければならない事項ではないものはどれか。次のア～エの中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 貨物自動車利用運送を行うかどうかの別
- イ. 自動車車庫の位置及び収容能力
- ウ. 各営業所に配置する事業用自動車の種別及び事業用自動車の種別ごとの数
- エ. 運転者の氏名

( )

問4【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行記録計による記録）

貨物自動車運送事業輸送安全規則により運行記録計による乗務の記録が義務づけられる車両について、以下の文章の【 】内に当てはまる語句を下のア～クの中からそれぞれ1つ選び【 】にその記号を記入しなさい。

事業者等は、車両総重量が【 】以上又は最大積載量が【 】以上の普通自動車である事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該事業用自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を【 】保存しなければならない。

- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| ア. 4トン | イ. 5トン | ウ. 7トン | エ. 8トン |
| オ. 1年間 | カ. 2年間 | キ. 3年間 | ク. 5年間 |

問5【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（従業員に対する指導及び監督）

事業者は、国土交通大臣が告示で定めるところにより、運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣が認定する適性診断を受けさせなければならないことになっていますが、対象となる運転者はどれか。次のア～ウの中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

ア. 運転免許証の更新を行った者

イ. 高齢者（65才以上の者をいう。）

ウ. 運転経歴が5年間を満たさない者

（ ）

問6【貨物自動車運送事業報告規則】（事業報告書及び事業実績報告書）

事業者は貨物自動車運送事業報告規則に定められた報告書を、決められた時期に提出しなければならないとあるが、事業者が提出しなければならない時期として正しいものはどれか。次のア～サの中からそれぞれ1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

<事業報告書>

毎事業年度に係るものを毎事業年度の経過後（ ）以内

<事業実績報告書>

前年4月1日から3月31日までの期間に係るものを毎年（ ）まで

ア. 30日	イ. 60日	ウ. 90日	エ. 100日
オ. 120日	カ. 3月31日	キ. 4月10日	ク. 7月10日
ケ. 7月31日	コ. 9月30日	サ. 12月31日	

問7【自動車運転者の労働時間等の改善のための基準】

(貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

使用者は、貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、次に定めるところによります。空欄の【       】内に入る正しいものを次のア～クの中からそれぞれ1つ選び、その記号を記入しなさい。

- ① 拘束時間は、1箇月について原則として【       】を超えないものとする。
- ② 1日についての拘束時間は、【       】を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、16時間とすること。
- ③ 勤務終了後、継続【       】以上の休息期間を与えること。

ア. 4時間	イ. 5時間	ウ. 8時間	エ. 9時間
オ. 13時間	カ. 15時間	キ. 24時間	ク. 60時間
ケ. 193時間	コ. 293時間	ク. 330時間	

問8【私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律】(定義)

私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律の定義について、【       】内にあてはまるものはどれか。次の中から1つ選び(       )内にその記号を記入しなさい。

この法律において【       】とは、事業者が、契約、協定その他何らの名義をもつてするかを問わず、他の事業者と共同して対価を決定し、維持し、若しくは引き上げ、又は数量、技術、製品、設備若しくは取引の相手方を制限する等相互にその事業活動を拘束し、又は遂行することにより、公共の利益に反して、一定の取引分野における競争を実質的に制限することをいう。

- ア. 独占的状态
- イ. 不当な取引制限
- ウ. 不公正な取引方法

(       )



試験日	令和2年7月20日
-----	-----------

受験番号	
------	--

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

申請者(法人)名 \_\_\_\_\_

受験者の氏名 \_\_\_\_\_

(注意事項)

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者（特別積合せ貨物運送に係るものを除く）を指します。
2. 設問の文中には、一部省略しているものもあります。

I. 次の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

問1【貨物自動車運送事業法】（定義）

この法律において「一般貨物自動車運送事業」とは、特定の者の需要に応じ、有償で、自動車（三輪以上の軽自動車及び二輪の自動車を除く。）を使用して貨物を運送する事業であって、特定貨物自動車運送事業以外のものをいう。

( × )

問2【貨物自動車運送事業法】（許可の基準）

その事業を自ら適確に、かつ、継続して遂行するに足る経済的基礎及びその他の能力を有するものであること。

( ○ )

問3【貨物自動車運送事業法】（運賃及び料金等の掲示）

事業者は、運賃及び料金、定款その他国土交通省令で定める事項を主たる事務所その他の営業所において公衆に見やすいように掲示しなければならない。

( × )

問4【貨物自動車運送事業法】（公衆の利便を阻害する行為の禁止等）

事業者は、適正かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときを除き、特定の荷主に対し、不当な差別的取扱いをすることができない。国土交通大臣は、この規定する行為があるときは、事業者に対し、当該行為の停止又は変更を命ずることができる。

（ × ）

問5【貨物自動車運送事業法施行規則】（届出）

事業者たる法人であって、常勤役員又は社員に変更があった場合、当該事業の許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長へ届け出なければならない。

（ × ）

問6【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（過労運転の防止）

事業者は、酒気を帯びた状態にある乗務員を事業用自動車に乗務させてはならない。

また、乗務員の健康状態の把握に努め、疾病、疲労その他の理由により安全な運転をし、又はその補助をすることができないおそれがある乗務員を事業用自動車に乗務をさせてはならないが、運行管理者がやむを得ないと判断したときはこの限りではない。

（ × ）

問7【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（事故の記録）

事業用自動車に係る事故が発生した場合に作成する事故の記録については、その記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において三年間保存しなければならないが、再発防止対策の記録は三年間の保存を要しない。

（ × ）

問8【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者等の選任）

事業者は、国土交通大臣が認定する講習を修了した者のうちから、運行管理者の業務を補助させるための者（補助者）を選任することができる。

（ ○ ）

問 9 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者の業務）

運行管理者は、従業員に対して、点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持すること。

（ × ）

問 1 0 【自動車事故報告規則】（速報）

事業者は、その使用する自動車について、2人以上の死者を生じた事故があったときは、電話、ファクシミリ装置その他適当な方法により、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

（ ○ ）

問 1 1 【道路運送法】（自動車に関する表示）

自動車（軽自動車たる自家用自動車、乗車定員十人以下の乗用の自家用自動車、特殊自動車たる自家用自動車その他国土交通省令で定めるものを除く。）を使用する者は、その自動車の前後に、使用者の氏名、名称又は記号その他の国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。

（ × ）

問 1 2 【道路運送車両法】（日常点検整備）

自動車の使用者は、自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。

（ ○ ）

問 1 3 【道路運送車両法】（整備管理者）

自動車の使用者は、国土交通省令で定める自動車であって国土交通省令で定める台数以上のものの使用の本拠ごとに、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。

（ ○ ）

問 1 4 【道路運送車両法】（自動車検査証の備付け等）

自動車は、自動車検査証を備え付け、かつ、国土交通省令で定めるところにより検査標章を表示しなければ、運行の用に供してはならない。

（ ○ ）

問 1 5 【労働安全衛生法】（健康教育等）

事業者は、労働者に対する健康教育及び健康相談その他労働者の健康の保持増進を図るため必要な措置を継続的かつ計画的に講ずるよう努めなければならない。

（ ○ ）

問 1 6 【私的独占の禁止及び不正取引の確保に関する法律】（不公正な取引方法）

事業者は、やむを得ない場合を除き私的独占又は不当な取引制限をしてはならない。

（ × ）

問 1 7 【下請代金支払遅延等防止法】（目的）

この法律は、下請代金の支払遅延等を防止することによって、親事業者の下請事業者に対する取引を公正ならしめるとともに、下請事業者の利益を保護し、もって取引の安全に寄与することを目的とする。

（ × ）

Ⅱ. 次の問題について、該当するものを選び（ ）内に記入しなさい。

問1 【貨物自動車運送事業法】（事業計画）

【貨物自動車運送事業法施行規則】（事業計画の変更の届出）

事業者は、事業計画の変更をしようとするときは、貨物自動車運送事業法施行規則で定める届出事項を除き認可が必要となります。次の中で認可事項に該当するものはどれか。次のア～オの中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 主たる事務所の位置の変更
- イ. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名の変更
- ウ. 営業所の名称の変更
- エ. 休憩睡眠施設の位置の変更
- オ. 主たる事務所の名称の変更

（ エ ）

問2 【貨物自動車運送事業法】（運行管理者資格者証）

国土交通大臣が運行管理者資格者証を交付することができる者はどれか。次の中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業者等の営業所の管理に関し5年以上の実務の経験を有する者
- イ. 事業者等の自動車運転者の運転の業務に関し5年以上の実務の経験を有し、国土交通大臣が定める講習を5回以上受講した者
- ウ. 運行管理者試験に合格した者

（ ウ ）

問3【貨物自動車運送事業法施行規則】（事業計画）

次のうち、事業計画として記載しなければならない事項ではないものはどれか。次のア～エの中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 貨物自動車利用運送を行うかどうかの別
- イ. 自動車車庫の位置及び収容能力
- ウ. 各営業所に配置する事業用自動車の種別及び事業用自動車の種別ごとの数
- エ. 運転者の氏名

( エ )

問4【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行記録計による記録）

貨物自動車運送事業輸送安全規則により運行記録計による乗務の記録が義務づけられる車両について、以下の文章の【 】内に当てはまる語句を下のア～クの中からそれぞれ1つ選び【 】にその記号を記入しなさい。

事業者等は、車両総重量が【 ウ 】以上又は最大積載量が【 ア 】以上の普通自動車である事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該事業用自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を【 オ 】保存しなければならない。

‘ア. 4トン	イ. 5トン	ウ. 7トン	エ. 8トン
‘オ. 1年間	カ. 2年間	キ. 3年間	ク. 5年間

問5【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（従業員に対する指導及び監督）

事業者は、国土交通大臣が告示で定めるところにより、運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣が認定する適性診断を受けさせなければならないことになっていますが、対象となる運転者はどれか。次のア～ウの中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 運転免許証の更新を行った者
- イ. 高齢者（65才以上の者をいう。）
- ウ. 運転経歴が5年間を満たさない者

（イ）

問6【貨物自動車運送事業報告規則】（事業報告書及び事業実績報告書）

事業者は貨物自動車運送事業報告規則に定められた報告書を、決められた時期に提出しなければならないとあるが、事業者が提出しなければならない時期として正しいものはどれか。次のア～サの中からそれぞれ1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

<事業報告書>

毎事業年度に係るものを毎事業年度の経過後（エ）以内

<事業実績報告書>

前年4月1日から3月31日までの期間に係るものを毎年（ク）まで

ア. 30日	イ. 60日	ウ. 90日	エ. 100日
オ. 120日	カ. 3月31日	キ. 4月10日	ク. 7月10日
ケ. 7月31日	コ. 9月30日	サ. 12月31日	

問7【自動車運転者の労働時間等の改善のための基準】

(貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

使用者は、貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、次に定めるところによります。空欄の【       】内に入る正しいものを次のア～クの中からそれぞれ1つ選び、その記号を記入しなさい。

- ① 拘束時間は、1箇月について原則として【   コ   】を超えないものとする。
- ② 1日についての拘束時間は、【   オ   】を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、16時間とすること。
- ③ 勤務終了後、継続【   ウ   】以上の休息期間を与えること。

ア. 4時間	イ. 5時間	ウ. 8時間	エ. 9時間
オ. 13時間	カ. 15時間	キ. 24時間	ク. 60時間
ケ. 193時間	コ. 293時間	ク. 330時間	

問8【私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律】(定義)

私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律の定義について、【       】内にあてはまるものはどれか。次の中から1つ選び(       )内にその記号を記入しなさい。

この法律において【       】とは、事業者が、契約、協定その他何らの名義をもつてするかを問わず、他の事業者と共同して対価を決定し、維持し、若しくは引き上げ、又は数量、技術、製品、設備若しくは取引の相手方を制限する等相互にその事業活動を拘束し、又は遂行することにより、公共の利益に反して、一定の取引分野における競争を実質的に制限することをいう。

- ア. 独占的状态
- イ. 不当な取引制限
- ウ. 不公正な取引方法

(   イ   )



北陸信越運輸局

(注)受験者数には「欠席者」を含む。

試験日	初回							再試験							合計																		
	受験者数	内訳		合格者数	不合格者数	内訳		受験者数	内訳		合格者数	不合格者数	内訳		受験者数	内訳		合格者数	不合格者数	内訳		合格率											
		新規	譲渡等			新規	譲渡等		新規	譲渡等			新規	譲渡等		新規	譲渡等			新規	譲渡等		新規	譲渡等									
R2.7.20	8	7	1	5	4	1	3	3	0	62.5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	8	7	1	5	4	1	3	3	0	62.5%